



令和7年 飛翔 二十歳を祝う会

201人の新たな門出を祝う

1月12日(日)、令和7年「飛翔 二十歳を祝う会」が中央公民館で開催されました。平成16年4月2日から平成17年4月1日生まれの201名が対象となり、式には146名が出席し、仲間との再会を喜ぶとともに新たな門出を祝いました。式では、新成人を代表して高崎環之さんが二十歳の誓いを述べました。



実行委員の紹介 (五十音順・敬称略)

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 宇野 美桜 | 加藤 睦望 | 加納小由佳 |
| 木原 颯汰 | 木村 舞音 | 高崎 環之 |
| 高橋 来香 | 中村 諒太郎 | 西門 良真 |
| 久田 夏生 | 藤田 敏光 | |

二十歳の誓い



新成人代表
高崎 環之さん

本日は、二十歳を迎えた私たちの門出に際し、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。

私たちがこのように集まるのは中学校の卒業式以来です。当時は新型コロナウイルスが全国的に蔓延した影響で臨時休校になり、思っていたような別れができない中、中学校を卒業し高校に入学しました。念願の高校生活への期待以上に、これからの生活への不安が大きかったです。そんな中でも私たちは友との絆を力に今日まで生き抜いてきました。これから先、人生のステージが進んでいくにつれ、交友関係が広がっていくと思います。それでも、困ったときはお互いに支え合える、セーフティーネットのような存在でありたいです。

さて、私は大学進学のため、十九年過ごした神戸町を離れ、昨年の春から東京で一人暮らしを始めました。東京はとても便利で、何でもあります。電車は五分に一本

来るので、時刻表を覚える必要もありません。テレビで紹介される飲食店に行くことも、お笑いライブ、スポーツ観戦に気軽に参加することもできます。小学生の時に観た、映画『君の名は。』の登場人物のような体験を自分のできた時はとても嬉しかったです。しかし、同時に、東京の利便性を実感したり、都会のビル群を眺めたりする度、浪人期に勉強に行き詰まった時に散歩した神戸町の街並みを思い出します。浪人した一年はとても辛かったです。ラジオだったたり、音楽だったり、今の自分の生きがいに出会うことができ、経験して良かったと思っています。私はまだ、将来、何をしたいか、何になりたいかが決まっていません。建築のデザイナーなのか、ラジオ番組の作家なのか、はたまたそれ以外なのか。しかし、何でもあれ、ふるさと神戸町、岐阜で培った経験を精一杯活かせる自分でありたいです。

最後に、私たちを近くで支えてくれる家族や、ともに成長していく二十歳の皆、私たちを教え、導いてくださった先生方、この会に尽力賜りました全ての方々に感謝を申し上げ、二十歳の誓いいたします。